



UNIVERSITY OF YAMANASHI

国立大学法人山梨大学
プレスリリース

平成27年5月13日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学理事
下 間 康 行

山梨県初演 J.S.バッハ＜マタイ受難曲＞演奏会を開催

本学大学院総合研究部教育人間科学域 片野耕喜教授が、山梨県で初演となるJ.S.バッハの最高傑作＜マタイ受難曲＞全曲の演奏会を下記のとおり開催しますので、適時取材方お願いいたします。

記

- 曲 目 : J.S.バッハ ＜マタイ受難曲＞全曲
日 時 : 平成28年3月21日（月・祝）
会 場 : キングズウェルホール（山梨県甲斐市下今井2446）
出 演 : 日本を代表する独唱者と片野耕喜教授（テノール独唱と指揮）
器 楽 : バッハコレギウムジャパンの元・現メンバーなどによる古楽器オーケストラ
合 唱 : 合唱団「甲府コレギウム・アウレウム」
その他 : 8月9日（日）に同ホールにて公開リハーサルを実施予定（詳細は別途お知らせします。）

国立大学法人山梨大学
大学院総合研究部教育人間科学域
教授 片野耕喜
Tel 055-220-8251

山梨県初演 J.S.バッハ「マタイ受難曲」

この度、山梨大学 片野教授が山梨県で初演となるJ.S.バッハ作曲「マタイ受難曲」の演奏会を開催することとなりました。

「マタイ受難曲」は、クラシック音楽の世界では最高傑作と讃えられており、キリストがエルサレムに入ってから最後の晩餐を経て、司祭たちに嫉まれ、ピラトに尋問され、民衆によって磔に処されるまでの荘厳な受難物語がテーマで、キリストへのバッハの深い共感と愛情が鮮明に音楽に込められている作品です。

演奏時間は約3時間という大作で、二重合唱、二重オーケストラ、そして今回は13人のソリストによる演奏を予定しています。片野教授は指揮と福音書記者役を担当します。

「マタイ受難曲」と双璧をなす「ヨハネ受難曲」も、国民文化祭採択事業の一環として平成25年3月、甲府市総合市民会館芸術ホールにおいて、片野教授が山梨県で初めて演奏しました。その後も片野教授は、バッハアカデミーという活動を通じて、バッハの音楽を県民とともに研究してきました。

ポイント①

演奏会場であるキングズウェルホール（甲斐市下今井）には、バッハの活躍していた当時のバロック式パイプオルガンが設置されています。（写真）

今回の演奏会ではこれを用いて、当時の演奏様式を再現するという歴史的試みを行います。このオルガンは、オルガニストの鈴木雅明氏*も絶賛した名器です。



ポイント②

ソリスト陣はこの分野で日本を代表する経験豊富なメンバーです。器楽奏者もバッハコレギウムジャパンの元・現メンバーなど、世界で活躍するピリオド楽器（古楽器）のトッププレーヤーを招聘します。

ポイント③

演奏会で合唱を担う「甲府コレギウム・アウレウム」は結成13年目となる片野教授主宰の合唱団です。山梨大学の学生および卒業生のほか、山梨大学教職員、甲府市民、音楽家のエキストラによる混声合唱団で、現在約35名の団員がいます。鈴木雅明氏*と共演した経緯もあり、アマチュアながら高い評価を誇っています。

※ 鈴木雅明氏・・・オルガニスト、指揮者。元東京芸術大学教授、現イエール大学教授。バッハコレギウムジャパンを率いて世界的に活躍。紫綬褒章受章。世界的にもっとも優れたバッハ演奏家に贈られるバッハメダルを日本人で初めて受賞。

主	催：マタイ受難曲演奏会実行委員会
共	催：キングズウェルホール
助	成：青山財団（京都）、ヤマハ音楽振興会（本部東京）
後	援：東京藝術大学同声会、内藤楽器（予定）、山梨大学

参考音源 マタイ受難曲の一部（平成27年3月に演奏したもの）：

<https://youtu.be/mQSRy3YL8xI?list=PLyNcuIgdYz3XAMqxafU0cIe5RqXiYSxpA> (YouTube)

キングズウェルホール：

<http://www.kingswell.co.jp/hall.php>